

2015年3月期【通期】連結決算ハイライト

(単位:百万円)

通期実績 (対前期比)	2014/3期 (2013/4~2014/3)		2015/3期 (2014/4~2015/3)		対前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	77,350	100.0%	85,015	100.0%	7,665	9.9%
営業利益	7,368	9.5%	7,633	9.0%	265	3.6%
営業外収益	1,637	2.1%	1,252	1.5%	△385	△23.5%
うち為替差益	512	0.7%	1	0.0%	△510	△99.6%
営業外費用	942	1.2%	757	0.9%	△185	△19.7%
うち支払利息	484	0.6%	313	0.4%	△170	△35.3%
経常利益	8,063	10.4%	8,129	9.6%	66	0.8%
特別利益	896	1.2%	436	0.5%	△460	△51.4%
特別損失	17	0.0%	-	-	△17	-
税金等調整前当期純利益	8,942	11.6%	8,565	10.1%	△377	△4.2%
法人税等	2,670	3.5%	3,221	3.8%	551	20.7%
法人税等調整額	492	0.6%	△344	△0.4%	△837	-
少数株主利益	1,044	1.3%	1,228	1.4%	183	17.6%
当期純利益	4,735	6.1%	4,459	5.2%	△275	△5.8%
為替レート(1USD/円)	105.39		120.55			
為替レート(1ユーロ/円)	145.05		146.54			

<2015/3期 決算概要 (対前期比)>

売上高	+76.6億円 (+9.9%)
営業利益	+2.6億円 (+3.6%)
経常利益	+0.6億円 (+0.8%)
当期純利益	△2.7億円 (△5.8%)

【売上高】 <過去最高値>

・海外は、自動車関連分野を中心に堅調に推移し、円安効果と相俟って、全ての地域(アジア+18.8%、北米+42.0%、欧州+3.8%)で売上が増加となった。

・国内は、消費税増税後の自動車販売への影響があったものの、自動車関連は堅調に推移。また、非自動車分野(特に船用・建設機械用)が対前期比で受注が回復に向かったこと等から売上は前年度を上回った。

【利益】

自動車関連分野での増収効果や非自動車分野(特に船用・建設機械用)の受注回復基調などにより、営業利益は2.6億円増益。為替差益が前年度に比べ減少したものの、経常利益は支払利息の減少などから0.6億円増益。当期純利益は、前年度では固定資産売却益(旧東京工場跡地売却益など8.9億円)の特別利益を計上したこともあり2.7億円減益となった。

<2016/3期 業績予想について>

・2016/3期の第2四半期(累計)および通期の業績予想は、左記のとおりです。
 ・2015/3期通期実績と2016/3期通期予想を比較した場合、売上高+0.6%、営業利益+4.8%、経常利益+5.8%、当期純利益+18.8%を予想しています。

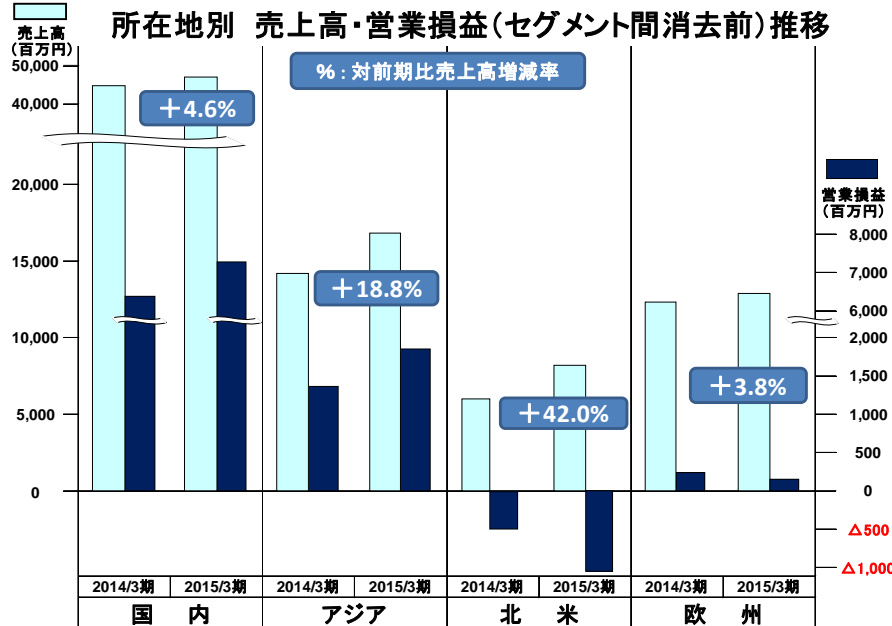
<配当推移・予想について>

	2014/3期	2015/3期	2016/3期 (予想)
中間	7円	10円	予想 13円
期末	10円	10円	予想 13円
年間	17円	20円	予想 26円

通期業績推移	実績				予想	
	2012/3期 通期	2013/3期 通期	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 第2四半期 (累計)	2016/3期 通期
売上高	70,326	70,886	77,350	85,015	41,500	85,500
営業利益 (営業利益率)	9,523 (13.5%)	6,286 (8.9%)	7,368 (9.5%)	7,633 (9.0%)	3,600 (8.7%)	8,000 (9.4%)
経常利益 (経常利益率)	8,947 (12.7%)	6,935 (9.8%)	8,063 (10.4%)	8,129 (9.6%)	3,900 (9.4%)	8,600 (10.1%)
当期純利益 (純利益率)	5,435 (7.7%)	4,385 (6.2%)	4,735 (6.1%)	4,459 (5.2%)	2,300 (5.5%)	5,300 (6.2%)
為替レート(1USD/円)	77.74	86.58	105.39	120.55	120.00	
為替レート(1ユーロ/円)	100.71	114.71	145.05	146.54	130.00	

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2014/3期	構成比	2015/3期	構成比	対前期比 増減額	同 増減率
自動車用エンジン軸受	50,021	64.6%	55,265	65.0%	5,244	10.5%
自動車用エンジン以外軸受	14,992	19.4%	16,362	19.2%	1,370	9.1%
非自動車用軸受(*)	11,655	15.1%	12,546	14.8%	890	7.6%
その他(*)	680	0.9%	840	1.0%	159	23.5%
合計	77,350	100.0%	85,015	100.0%	7,665	9.9%

*2013年7月1日付の組織変更により、従来「非自動車用軸受」に含めておりました金属系無潤滑軸受事業を「その他」に変更しております。



主要財務指標	2012/3末	2013/3末	2014/3末	2015/3末	対前期末比
売上高営業利益率	13.5%	8.9%	9.5%	9.0%	△0.5P
自己資本当期純利益率(ROE)	20.7%	14.2%	13.1%	10.8%	△2.2P
自己資本比率	32.2%	36.3%	37.3%	37.4%	+0.1P
純有利子負債(有利子負債-現預金)	16,977	17,159	15,844	17,964	+2,119

設備投資・減価償却	2012/3期 通期	2013/3期 通期	2014/3期 通期	2015/3期 通期	対前期比
設備投資	5,596	10,040	10,838	10,597	△241
減価償却費	4,566	4,838	5,027	5,744	+716

<所在地別 (対前期比)>

◇国内

・堅調な自動車関連売上に加え、非自動車分野(特に大型船舶・建設機械用)の受注が回復に向かったことなどから前年実績を上回った。

・営業損益は、堅調であった自動車関連に加え船用の受注回復基調等の増収効果により増益となった。

◇海外

【アジア】

中国を中心に自動車関連売上が好調に推移。
 営業損益についても、中国・タイが牽引し増益となった。

【北米】

自動車関連及び一般建設機械ともに売上は堅調に推移。
 営業損益のマイナスは、メキシコ新工場にかかる先行費用の計上等によるもの。

【欧州】

自動車関連では、域内の需要回復基調や新規顧客向け納入開始等により、売上は堅調に推移。一方、船用(中小型船向け)が依然低調で推移したことなどから営業損益は減益となった。

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。